

事 務 連 絡
平 成 2 6 年 1 2 月 8 日

国立大学法人北海道大学 御中

文 部 科 学 省
研究開発局原子力課

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」を御参照願います。

課題名	多様な環境放射能問題に対応可能な国際的人材の機関連携による育成
実施機関	国立大学法人北海道大学
実施期間	平成23年度～平成25年度

【評価結果】

S	極めて優れた成果があげられた
---	----------------

【審査評価委員会所見】

＜推奨意見＞

●本事業で作成したテキストや動画教材について、積極的にオープン化を進めるとともに、オープン教材の著作権の問題及び双方向性の課題（学生からの質問への対応）についても精力的に取り組もうとする姿勢が非常に高く評価できる。今後、本事業で作成したオープン教材及び成果について、学会や原子力人材育成ネットワーク、国際ジャーナル等で更に意欲的に発信され、普及・活用されることを期待する。

●本事業で実施した講義及び実験において、初級から上級までの複数の育成コースを設けるとともに、上級コースでは実習及び市民向け講座も組み合わせることや本事業を通じて得られた成果を発表する機会を設ける等の工夫を行った結果、学生及び社会人から当初の予想以上の参加者を募ることができ、また、参加者の理解をより深めることができた点が高く評価できる。本事業を通じて体系化された教育プログラムを、今後も継続的に実施されることを期待する。

＜今後への参考意見＞

●連携機関からの参加者が、一部のコースにおいて相対的に少ないため、学生との双方向性の観点から、貴機関以外での開催を検討していただくとともに、その際、連携機関から多くの参加者を募るための宣伝方法を工夫していただきたい。さらに、海外の研究の進捗状況や原子力政策の違い等、最新の国際動向について積極的に取り入れていただきたい。

●上級コースの実験及びフィールドワークについて、社会人の参加が可能となるような措置を検討していただきたい。また、講義及び実験をセットにしているコースについては、そのいずれかのみに参加を希望する者への開放も重要であるが、コースとして組まれているカリキュラム全てを修了する者が計画数に達するよう努めていただきたい。